

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 144 事業名 清掃事務所維持管理事業（西）

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		清掃費	
	目		塵芥処理事業費	
	大事業		塵芥処理事業	
	事項		清掃事務所維持管理事業（西）	

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	4	自然環境・資源循環型社会の形成
施策	4	循環型社会の形成
取組	2	一般廃棄物の適正処理

事業種別		主な事務事業	
事業期間		～	
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	西事務所	中村 文治 (453-0253)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実			
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実			
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実			
その他		その他		その他			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か）	事業内容				
	西事務所の職場環境を整えることにより、維持運営を円滑にして、一般ごみ及び資源の収集運搬が円滑に進む状態にするための事業。	委託業務として、 事務所内清掃業務委託 機械警備業務委託 し尿浄化槽保守点検業務委託 給湯機能付冷温水発生機・室内FCUポンプタンク等整備点検業務委託 またその他維持管理業務として、 光熱水費及び火災保険料等支払い業務、所々修繕業務を行う。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		事務所の衛生的な職場環境の維持管理に努めた。 ・吸引式冷温水発生器燃焼基板取替修繕 ・作業場照明器具取替修繕 ・浴槽水漏れ修繕 ・受水槽架台塗装修繕 ・車庫、作業場コンクリート等修繕	事務所の衛生的な職場環境の維持管理に努めた。 ・吸引式給湯器修繕 ・浄化槽ポンプ緊急取替修繕 ・浴室照明器具取替修繕 ・車庫屋根修繕	事務所の衛生的な職場環境の維持管理に努めた。 ・給水加圧ポンプユニット取替修繕	事務所の衛生的な職場環境の維持管理に努めた。	事務所の衛生的な職場環境の維持管理に努めた。

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	7,999	7,188	8,149	7,492	8,379	7,311	8,089				
	伸び率 (%)	-	-	1.9%		2.8%		-3.5%			-100.0%	
	人件費	常勤職員	48,070	29,750	29,750	28,228	29,750	27,118	29,750			
		非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0			
		小計	48,070	29,750	29,750	28,228	29,750	26,854	29,750			
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
その他					72		72					
一般財源 (税等)	7,999	7,188	8,149	7,492	8,307	7,311	8,017					
所要人数	常勤職員	5.42	1.55	2	3.74	2	3.59	2				
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0				

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	修繕箇所数	年度目標値								
		実績値			5	4	1			
	単位	箇所	全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度			
			年度目標値		実績値		年度別達成度			
	単位	全体目標値			全体目標達成度		年度別達成度			
年度目標値			実績値		年度別達成度					
成果指標	事務所不具合による業務停止日数				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	単位	日	年度目標値		0	0	0	0	0	
			実績値		0	0	0			
	単位	全体目標値			全体目標達成度		年度別達成度			
		年度目標値			実績値		年度別達成度			
	単位	全体目標値			全体目標達成度		年度別達成度			
年度目標値			実績値		年度別達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載)
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	B 1
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	<p>事務所維持管理については、現在まで小規模修繕によりかろうじて職場環境を維持しており、今後の事業を進めるためには、より効率的な修繕を実施するなどの一部見直しを行うことが妥当と考えます。</p>
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	<p>事務所が年を追うごとに老朽化し、修繕を要する箇所が増加していることを考慮すると、大規模な修繕を行う方が衛生的な職場環境を作ることができると考えます。</p> <p>また、今後予定されている南事務所廃止に伴う業務内容充実と大型分譲地開発による世帯数の大幅増加を見据え、施設設備の充実及び人員の増加が必要であると考えます。</p> <p>具体的な大規模修繕としては、空調設備の全面改修、給湯設備一式の改修や東門改築、フェンス、舗装、車庫の整備等を考えています。</p>